

April & May, 2013

CREATOR'S VOICE

# 山本裕典 4 & 5

神奈川芸術プレス Vol.111

# ARTS PRESS

## KANAGAWA



写真・大野純一

CREATOR'S VOICE 130 俳優

# 山本裕典

## 宮本亜門演出 『耳なし芳一』に出演

神奈川県立音楽堂 60周年まであと1年  
～話題のピアニスト、ユジャ・ワン登場

横須賀・三浦エリアに注目!

神奈川県民ホール オープンシアター2013

# 山本裕典

Yusuke Yamamoto 俳優

## 舞台への挑戦は、自分をみつめ直す大切な時間 宮本亜門演出『耳なし芳一』に出演

テレビドラマや映画での華々しい活躍に負けず劣らず、舞台の上をも颯爽と駆け回り、観る者を惹きつける人気俳優・山本裕典。強い印象を残したのは演劇界の巨匠・蜷川幸雄とタッグを組んだシェイクスピア作品への挑戦だった。「成長の手応えを実感できた」と語る彼の次なるステップは、KAATのNIPPON文学シリーズ『耳なし芳一』の舞台。演出を手がけるKAAT芸術監督・宮本亜門との初の出会いを前に、これまでの、そしてこれからの舞台にかける熱い思いを聞いた。

### ●泣き崩れた経験を積み重ねて

—雑誌のコンテスト受賞をきっかけに芸能活動を始めた山本さんですが、当初から俳優志望だったんですか？

いえ、俳優になろうとはまったく考えていなかったんです。もともとはモデルの仕事に興味があったんですが、事務所からは「俳優として一人前になればモデルの仕事もできるから、まずは俳優の仕事を」と。運良くすぐに『仮面ライダー』のオーディションに受かったんですが、芝居に関してはまったく無知の状態でした。デビューから2年くらいはドラマとドラマの間の短いスパンの中でワークショップのような形の公演を行い、演技の勉強をさせてもらっていました。

—そこで演じることの楽しさを知って…？

いや～最初はキツかったです。今までの人生でダメ出しなんてされたことがなかったですから。上手くできない自分がかくかくて、東銀座の歩道橋の下でマネージャーさん相手に「どうすればいいかわからない！」と2時間、泣き崩れたこともありました。

当時いろんな仕事の現場に行く度に、すごく気を遣っている自分を感じていたんですよね。どれが本当の自分なんだろう？と気持ち悪くなって、この仕事は自分に向いていないのかも、やめよう…と本気で思っていました。そんな時期に出演させていただいたのが劇団ONEOR8の『騷』(作・演出:田村孝裕)という舞台だったんです。僕に当て書きで台本を書いていただいたんですが、まさに“本当の自分は何？”という悩みをテーマとした作品。毎日真剣に取り組んで、公演をやり終えた時にはその悩みは吹っ切れていました。



この時初めて、もっと芝居をやりたい、もっと勉強しなきゃいけないと本気で考えるようになったんですね。一つステップアップできたという実感もありました。

—その後『じゃじゃ馬馴らし』や『トロイラスとクレシダ』など演出家・蜷川幸雄さんとともに作り上げた舞台によって、俳優・山本裕典さんの魅力が演劇ファンにも広く知れ渡ったように感じます。

本当に勉強になったし、自信をつけていただいたと思っています。稽古中に一度風邪で高熱を出してしまい、それを隠して稽古に出たことがあったんですね。長台詞を言わなきゃいけないのに、ぼうっとしちゃう舌が回らない。そうしたら蜷川さんが怒って台本をバーンと投げ捨てたんです。「お前な、こういう台詞が言いたくても言えない役者がごまんといらんだよ！もっと責任持って、勇気を持って芝居しろ！」と言ってそのまま帰ってしまった。その場に崩れ落ちてヒイヒイ泣きましたよ(笑)。その時先輩の役者さんに言われたんです。「お前のようにテレビに出ている役者の台詞は、いくら滑舌が悪くてもお客さんが聞こうとしてくれる。俺らは言えて当たり前。だけど、お前が台詞を言えるようになったら俺らはかなわないぞ。お前に絶対に負けたくないから俺は台本を二百回、三百回と読み込む。裕典、お前ももっと読み込んで来い」と。そこから死ぬ気で稽古に取り組みました。

批評記事を読んでへこんでいた時には、蜷川さんに「言われるうちが花なんだよ。どこかで見返そう。俺がシェイクスピアのできる役者に育ててやるから」と言われて、また泣いてしまった(笑)。まだまだ未熟だけど、上手くなりたい、表現したいという意識があれば見ている人には伝わるんだと信じて、今後も成長を目指して一つ一つの作品に取り組んでいきたいと思いましたね。

#### ●勉強のすべてが宝になる

—そして今回、また新たな舞台『耳なし芳一』で演出家・宮本亜門さんと出会います。

お会いするのはこれからのので緊張しますよ～！でも以前、大東俊介(現・駿介)くんが舞台『金閣寺』(演出:宮本亜門)のことをすごくイキイキと楽しそうに話していたんですね。それを聞いて、いい環境の中で芝居をやっているんだろうなと思っていました。今回のお話をいただいた時はワクワクして、宮本さんってどういう方なんだろうとネットで色々調べたりしました(笑)。

これまでシェイクスピア作品などをやらせていただきましたが、今回は日本の、しかも現代劇ではない昔話。僕にとっては初めての挑戦です。家族に舞台の話をして皆ストーリーを知っていて、父は「お前、坊主にするのか？」って(笑)。琵琶を弾くことになると思うので、琵琶の稽古は早めに始めたいですね。以前、舞台上でギターを弾く役を演じた時は毎日ギターを手放さずにいたんですが、今回は琵琶とともに過ごすことになりそう。ほかにも、その時代の人物の立ち居振る舞いなどを一から勉強していかなければと思っています。そういった勉強のすべてが自分の宝となって、次の機会に絶対に生きてくると思うので。

—ご自身にとって舞台に立つことの意味をどのように考えていますか？

じっくりと稽古をして、本番に向かう。その舞台のことだけを考えると過ごす期間は、自分をみつめ直せる時間だと考えています。どこか心に余裕が生まれて、せかせかと動いていた時の自分を振り返って、引き出しの整理整頓ができるんです。あ、こんなことをやったな、こんなこともできるようになったな、ここはもっとああすればよかった…というように。ドラマの現場で経験値を積んで前に進み、一つ舞台をやるごとに階段を一段上がる。そんなイメージがありますね。年に一、二本は舞台をやりたいと思っているので、今年は早いタイミングで『耳なし芳一』に挑戦できることを幸運に思っています。

取材・文 上野紀子  
撮影 大野純一



山本裕典(俳優)  
Yusuke Yamamoto

1988年1月19日生まれ。作品ごとに様々なキャラクターを演じ分ける確かな演技力で存在感を示す、多方面で活躍中の若手俳優の筆頭。主な出演作品にドラマ『タンブリング』(2010年、TBS)、『桜蘭高校ホスト部』『南極大陸』(ともに11年、TBS)、『GTO』(12年、CX)、『あぼやん～走る国際空港』(13年、TBS)、映画『ROOKIES-卒業-』(09年)、『パラダイス・キス』(11年)、『貞子3D』(12年)、舞台『躰』(09年、演出:田村孝裕)、『じゃじゃ馬馴らし』(10年、演出:蜷川幸雄)、『トロイラスとクレシダ』(12年、演出:蜷川幸雄)、など。

## NIPPON文学シリーズ「耳なし芳一」

4月13日(土)～21日(日)  
KAAT神奈川芸術劇場(ホール)  
原作:小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)  
演出:宮本亜門 台本:高羽彩  
出演:山本裕典 安倍なつみ  
橋本淳 花王おさむ 大西多摩恵  
大駱駝艦(若羽幸平 橋本まつり 銚久奈緒美)  
益岡徹  
全席指定 S8,500円 A6,500円  
※U24チケット、高校生以下割引、シルバー割引あり  
(詳細はHPかお問合せ)  
インターネット予約(24時間対応)  
URL <http://www.kaat.jp/>  
チケットかながわ ☎045-662-8866(10時～18時)



山本裕典 安倍なつみ 橋本淳 益岡徹

## COLUMN 今月の小コラム

## 山本裕典さんにQ&A

—愛知県ご出身の山本さんですが、神奈川・横浜の思い出はありますか？

いっぱいありますよ！ 僕、以前『RESCUE～特別高度救助隊』というドラマで、横浜の消防署のレスキュー隊員を演じていたんです。その頃は毎日、撮影で横浜のあらゆる地域にレスキューしに行っていました。

—街にどんなイメージを持っていますか？

どんどん活性化していて、今は交通の便も良く東京からすぐに来れますよね。僕の中ではすごく都会なイメージ。自分が愛知の田舎モノなので、「横浜出身です」なんて言われたら「都会人だな

あ、羨ましい～」と思っちゃいますね。

—舞台のお稽古から本番まで連日の横浜通いが始まりますね。何かしてみたいこと、期待していることはありますか？

僕、中華料理が大好きなんです。中華街の食べ歩きもしてみたいし、稽古場でのお昼のお弁当は中華弁当だったら嬉しいな。あ、僕も中華まんをドッサリ買って、キャストやスタッフの皆さんに差し入れしたいと思います！

# 神奈川県立音楽堂 60周年まであと1年 ～話題のピアニスト、ユジャ・ワン登場



©FBroede



©James Cheadle

## ユジャ・ワン (ピアノ)

1987年北京生まれ。

北京の中央音楽学院を経て、フィラデルフィアのカーティス音楽院でゲイリー・グラフマンに師事し、2008年に卒業。2005年にデビュー以来、シカゴ響、ニューヨーク・フィル、ボストン響、サンフランシスコ響、ロサンゼルス・フィルなどアメリカのメジャー・オーケストラや、ロンドン・フィル、ルツェルン祝祭管などヨーロッパの一流オーケストラとの共演、リサイタルで破竹の快進撃を続けている。

ドイツ・グラモフォンと専属契約を結び、セカンド・アルバム

「トランスフォーメーション」は2011年エコー・アワードの年間新人賞を受賞。

アバド指揮マーラー室内管弦楽団とのラフマニノフの協奏曲第2番は、

グラミー賞ベスト器楽奏者部門にノミネートされた。

神奈川県立音楽堂は、2014年、  
開館60周年を迎える。

1954(昭和29)年のオープン以来、  
「紅葉坂の音楽堂」に出演した演奏家たちの  
リストは、まさに戦後の音楽史を語る。

公共のコンサート専用ホールとして  
日本で最も古い歴史を持ち、身近に本格的な  
コンサートが楽しめる“わが町の音楽堂”として、  
多くの人々に愛されてきた。

還暦へのカウントダウン・イヤーとなる本年、  
春には、中国出身のピアニスト、  
ユジャ・ワンのリサイタルが期待される。

## いま一度、音楽堂の存在を見直すきっかけに

県立図書館および県立音楽堂の建設には、サンフランシスコ平和条約の発効を受けた戦後の神奈川復興の願いが込められていた。1954(昭和29)年の開館記念式典とコンサートは、11月4日から3日間、NHK交響楽団や神奈川在住の演奏家などの出演で盛大に行われた。

昭和29年といえば、日本が高度経済成長の坂をこれから上ろうとする時期。住居もままならない時代に、これだけのクオリティをもつ音楽ホールが実現できたのは、当時の県知事・内山岩太郎をはじめとする見識ある人々の叡智の結晶だった。公共施設がとかく多目的のホールになりがちなかで、「音楽専用ホール」という軸をぶれずに持ち続け、優れた音響が実現できたからこそ、ここまで多くの名演奏家や音楽ファンに愛されてきたに違いない。

音楽堂にはアマチュア音楽家も多数出演し、学校公演にも使われてきた。音楽堂への思い出を、「あのとき家族でこのコンサートに行った」「このステージで合唱した」……とご自分の人生と重ね合わせられる方も多いことだろう。音楽と人生を結びつけてくれる存在である音楽堂は、町の大切な宝である。少しずつ手直ししながら大切に使われてきたホールは、木の熟成を感じさせるぬくもりに満ち、かつクリアな響きが魅力だ。60周年を機に、いま一度音楽堂の価値を見直し、足を運んでみてはいかがだろうか。また、夏休みの子ども向けコンサート、高校生参加による「メサイア」など若い世代に向けた企画や、「平日昼間のコンサート」のような、これまで土日祝日や夜の公演に足を運ばなかった方々に向けた企画なども行われているので、さまざまな世代の方々がこれから新しい思い出を作っていくきっかけにもなってほしい。

還暦は、干支が60年経つと一回りして元に戻ることから「本卦還り」とも言われる。過去を振り返るだけでなく、新たな出発の年として、音楽堂の魅力を生かした企画に期待したい。

## 県立音楽堂 春のラインナップ

### ユジャ・ワン ピアノリサイタル

2013年4月18日(木) 19:00開演 神奈川県立音楽堂

予定プログラム: スクリャービン/ソナタ第6番 ト長調 ラヴェル/ラ・ヴァルス  
メンデルスゾーン(ラフマニノフ編曲)/真夏の夜の夢 より スケルツォ  
ラフマニノフ/ソナタ第2番 変ロ短調 ほか

※曲目・曲順は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

全席指定 一般4,500円 シルバー(65歳以上)4,000円 学生(24歳以下)2,000円

### クラシックな休日を♪in 音楽堂

5月11日(土) 15:00開演 神奈川県立音楽堂

指揮: 藤岡幸夫 ピアノ: 山下洋輔 タップ: 米澤一平 管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団 他  
ガーシュイン/交響組曲キャットフィッシュ・ロウ 一柳慧/ピアノ協奏曲第4番“JAZZ” 他  
チケット料金: 一般4,500円 学生(24歳以下)2,000円 特別ペア券8,000円

### ■チケット

チケットかながわ ☎045-662-8866(10時～18時) 音楽堂窓口(13時～17時 月曜休)

インターネット予約(24時間対応) URL <http://www.kanagawa-ongakudo.com/>

★予告★ 音楽堂ヴィルトゥオーゾ・シリーズ第10弾 アンドラーシュ・シフ ピアノリサイタル  
2014年3月21日(金・祝) 15:00開演(予定) 神奈川県立音楽堂 ※詳細は音楽堂HPにて後日発表します。

※シルバー、学生券、特別ペア券は数に限りがあります。 ※未就学児童の入場はご遠慮ください。

### 新時代を拓く天才ピアニスト、ユジャ・ワン

プレ60周年イヤーの今年、春には音楽界の「新しい波」を代表するピアニストが登場する。いまや飛ぶ鳥を落とす勢いの活躍を見せる中国出身のユジャ・ワンだ。2006年にロリン・マゼール率いるニューヨーク・フィルのソリストとして来日。昨年ではティルソン・トーマス指揮サンフランシスコ響とラフマニノフの《パガニーニの主題による狂詩曲》を日本公演で披露した。同曲と、ラフマニノフのピアノ協奏曲第2番は、クラウディオ・アバド指揮マーラー室内管弦楽団との録音でも話題になった。マゼール、アバドという、若手演奏家に鋭いアンテナを持ち、優れた才能の発掘に熱心な指揮者に早くから起用された経歴こそ、ユジャが破格の才能の持ち主であることを物語っている。

初めて彼女のピアノを聴く人は、まず抜群のテクニックと、すみずみまで満ち溢れる躍動感に圧倒されるに違いない。しなやかな身体から繰り出されるタッチは、重厚な低音からきらびやかな高音まで、狙った獲物は逃さないハンターのように、確実に鍵盤をとらえる。パッションに溢れた、自由奔放さもユジャの魅力だ。

超絶技巧をもち、ヴィルトゥオーゾ・タイプのレパトリーを誇ると聞いて、これまで音楽堂に出演してきた巨匠たちとは違うタイプでは?と思われるかもしれないが、決してそうではない。一見ワイルドで華やかな演奏は、完璧なコントロールと冷静に組み立てられた構造、丁寧に紡がれる歌心に支えられていることがわかる。シャープな切れ味、ほとぼしるドライブ感は、クラシック音楽を超えた幅広い音楽ファンの心を捉えることだろう。編曲ものや現代曲も得意とし、CDアルバムやリサイタルでバランスよく組み合わせたプログラムで自らの魅力をアピールしてきたユジャだけに、今回のプログラムにも期待が高まる。

チャイコフスキーのピアノ協奏曲やユジャが録音しているリゲティのエチュードなど、難技巧で知られるレパトリーは、作曲当時「演奏不能」という不当なレッテルを貼られることが多くあった。作曲家が挑んだ限界は名演奏家によって乗り越えられ、それがまたさらに新しいチャレンジを作曲家に課す——ピアノのレパトリーはユジャのような「限界を超える」ことができる、稀有な才能によって築き上げられてきたと言える。ステージと客席の一体感が楽しめる音楽堂で、一瞬一瞬を聴き逃さない旬のアーティストの「いま」を、思う存分楽しみたい。

木のホールとして、今もその音の響きの良さで世界的に知られる神奈川県立音楽堂ですが、この建物を訪れて感じるのは、簡素でありながら清潔で透明感のある、それでいてどこか親しみやすいヒューマンな雰囲気ではないでしょうか。同時に、訪れると、今から59年も前に建てられたとは思えないほど清新な印象を誰もがもつのではないかと思います。でも、そう感じるのには理由があります。この建物には、終戦直後の混乱の中で、復興へ立ち向かう市民に音楽を通して心のよりどころとなる最高の場所をつくろうと努力した人たちの思いが奇跡的な形で結実しているからです。

計画の始まりは、1952年4月28日、講和条約が発効し、日本が占領下から独立をはたした記念すべき日に発足した県立図書館建設準備委員会でした。もちろん、厳しい時代の下、人々は食うや食わずの状況に喘いでいました。そんな中、戦後最初の知事となった内山岩太郎は、戦前からの懸案だった県立図書館の建設に音楽堂を併設するというアイデアを思いつきます。内山には、やはり美術によって明日への希望の灯をともし、前年に竣工した鎌倉の神奈川県立近代美術館が好評を得たという確かな手ごたえもありました。こうして、内山は、議会を説得し、音楽評論家の野村光一や音楽家の佐藤美子ら音楽関係者の協力を得て構想を練り上げていきます。そして、近代美術館と同じく、最前線で活躍していた坂倉準三や丹下健三ら建築家5名を指名して設計のアイデアを募り、最優秀となった前川國男の案によって、図書館と日本初の音楽専用ホールを組合せたユニークな建築が実現する道筋を切り拓いていったのです。

もちろん、前川にも音楽ホールを設計した経験はありませんでした。そこで、1951年、戦後復興の象徴としてイギリスのロンドンに完成したばかりのロイヤル・フェスティバル・ホールを参考にせよ、との野村の指示を受けて、前川はただちに現地へ飛び、その詳細な音響設計の報告書を日本へと持ち帰ります。そして、それを規範に手さぐりで設計を

進めていきます。その際、内山は、建設費とは別に、音響実験と設計変更のための工事費を計上させ、世界水準の音楽ホール実現を後押ししました。音響設計を担当したのは、後に音響学の第一人者となる若き日の東京大学生産技術研究所助手の石井聖光でした。石井は、建設工事に合わせて5回も音響測定を行い、細心の注意を払って調整を繰り返しながら、前川と共に理想的な音楽ホールをめざしたのです。そして、もう一つ、この建物には前川が戦前から温めていた考え方が込められていました。近代建築の巨匠ル・コルビュジェのバリのアトリエに日本人として最初に学んだ前川は、構造の明快さと工業化製品を用いた建物の軽量化によって、明るく軽やかな建築空間を実現しようと模索を続けていました。この建築では、さらに、そこに日本の伝統的な建築に見られる中と外の空間が一体となって広がる心地よさを盛り込もうとしたのです。こうして、ガラス張りのロビーや吹抜けの閲覧室など、それまでの公共建築にはなかった透明感あふれる場所が創り出され、木の柔らかさに包まれたホールとの絶妙な組合せが誕生しました。

私自身もかつて音楽堂でヘンリック・シェリングのバイオリン独奏を聴き、世界的巨匠をホームコンサートのような雰囲気味わえる至福の時を過ごした経験があります。その同じ舞台上アマチュア音楽家も立ち、市民が寄り集う、それはここにしかない風景です。市民に親しまれる生きた文化遺産として、神奈川県が世界に誇れる戦後近代建築として、いつまでもそこにあり続けてほしいと思います。



明るく透明感あふれる音楽堂のロビー(筆者撮影)

## KAAT神奈川芸術劇場からのお知らせ

KAAT

KAAT内に2つのカフェが新しくオープンします!

### KAAT CAFE(カート・カフェ)

場所:KAAT・NHKアトリウム内1階

観劇前後に楽しめる、パスタや洋風どんぶり、サンドイッチ、アルコール類、ドリンク各種をご用意してお待ちしています。3月上旬オープン予定。

☎045-651-6202(KAAT CAFE)

### cafe de marche(カフェ・ド・マルシェ)

場所:建物外面の中華街方向、本町通りに面した角

野菜料理を中心に提供する小さなカフェ。これからの季節、開放的なオープンテラスが快適です。

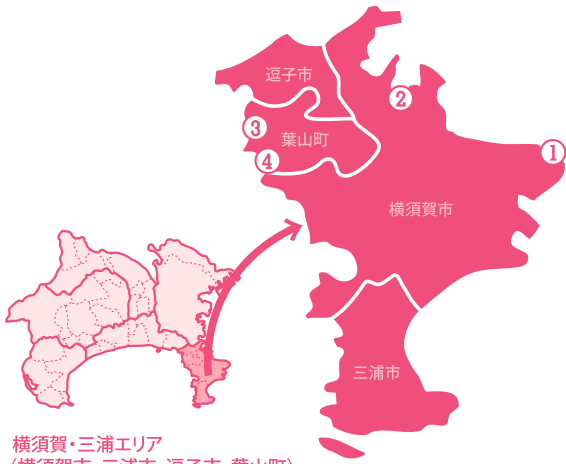
3月27日オープン予定。 ☎045-662-2282(パークスカナガワ)



KAAT CAFE(イメージ)

# 横須賀・三浦エリアに注目!

ペリー来航の地、マリンスポーツの拠点として知られるこのエリアは、ゴールデンウィークもイベントが盛りだくさん。市民参加の芸術祭や自然のなかで芸術鑑賞できる美術館など、一味違う企画が楽しめます。



横須賀・三浦エリア  
(横須賀市・三浦市・逗子市・葉山町)



三浦海岸の日の出 写真提供:三浦市観光協会  
\*事前に各施設にお問合せのうえ、お出かけください。

## ① 横須賀美術館

正面に東京湾、三方を観音崎公園の森に囲まれる美術館。海と緑が広がる絶景とガラスに覆われた建物が特徴的。  
2月9日(土)~4月14日(日)「日本の木のイス展」  
観覧料:一般800円、高大生・65歳以上600円、中学生以下無料  
お問合せ: ☎046-845-1211

## ② よこすか芸術劇場

国内最大級の本格派オペラハウス仕様。優れた音響で、舞台との一体感が楽しめる。  
5月5日(日・祝)~7日(火)第15回世界オペラ歌唱コンクール「新しい声2013」オーディション in YOKOSUKA  
入場無料  
5月28日(火)18:30 鼓童ワン・アース・ツアー2013~伝説  
S4,500円 A3,500円 B2,500円  
お問合せ: ☎046-823-9999

## ③ 第21回葉山芸術祭

葉山町と周辺市域で毎年開催され、地域住民有志で運営されている芸術祭。展覧会やアート市、コンサート、ワークショップなどが町を彩る。第21回の今年は、4月20日(土)~5月12日(日)、「変わった? 変わらない?」をテーマに、3.11以後の意識を交換し合う。詳細は「葉山芸術祭」の公式HPで順次発表。  
<http://hayama-artfes.net/>  
お問合せ: ☎046-877-1441

## ④ 神奈川県立近代美術館 葉山

葉山の海と山が調和するように建築され、自然光をたっぷり取り入れた展示室でゆったり鑑賞を楽しむことができる。  
4月6日(土)~5月26日(日)ロシア近代絵画の頂点 国立トレチャコフ美術館所蔵 レーピン展  
開館:9:30~17:00(入館は16:30まで) 一般1,100円、20歳未満・学生950円、65歳以上550円、高校生100円。  
お問合せ: ☎046-875-2800

### 神奈川県フィルハーモニー管弦楽団

定期演奏会 会場:横浜みなとみらいホール  
第289回 4月26日(金)19:00開演  
指揮:金聖響  
ブレーズ/ノタシオンI~IV  
ストラヴィンスキー/バレエ組曲「火の鳥」(1919年版)、バレエ音楽「春の祭典」  
第290回 5月24日(金)19:00開演  
指揮:現田茂夫 ヴァイオリン:三浦文彰  
ベートーヴェン/ヴァイオリン協奏曲  
ヴェルディ/管弦楽曲集~「アイダ」序曲、「運命の力」序曲、「椿姫」第1幕への前奏曲など  
各回 S6,000円 A4,500円 B3,000円  
学生席(B)1,000円 他  
お問合せ:神奈川県フィル・チケットサービス  
☎045-226-5107(平日10:00~18:00)  
<http://www.kanaphil.or.jp/>

### 県立神奈川近代文学館

特別展  
「井上ひさし展—21世紀の君たちに—」  
国民的人気番組「ひょっこりひょうたん島」(山元護久との共作)の放送作家として登場し、小説「吉里吉里人」、戯曲「きらめく星座」「父と暮せば」など多くの名作を遺して2010年に亡くなった作家、劇作家・井上ひさし(1934~2010)の生涯を辿る特別展。  
記念講演会:5月19日(日)小森陽一(東京大学大学院教授)、5月26日(日)扇田昭彦(演劇評論家)  
料金:各日1000円(詳細はHPをご覧ください)  
4月20日(土)~6月9日(日)  
※月曜休館(4月29日、5月6日は開館)  
一般600円 65歳以上・学生・20歳未満300円  
高校生100円 中学生以下無料  
神奈川県横浜市中央区山手町110  
(みなとみらい線「元町・中華街駅」(6番出口)徒歩10分)  
☎045-622-6666 <http://www.kanabun.or.jp/>

### 神奈川県県民局暮らし文化部文化課

平成25年度神奈川県文化芸術活動団体事業補助金等の募集  
※提出締切:4月5日(金)まで(必着)  
神奈川県では、県内の文化芸術活動団体が行う自主的な文化芸術活動の活性化及び本県における文化芸術の振興を図るため、公募方式による補助を実施します。広く県民の皆さんを対象とした文化芸術に関する公演、展示、コンクール、ワークショップ等を企画されている皆さんのご応募をお待ちしています。  
詳細は下記の県ホームページをご覧ください。  
<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f3486/>  
お問合せ:神奈川県県民局暮らし文化部文化課  
文化事業グループ ☎045-210-3808

#### 公益財団法人神奈川芸術文化財団 賛助会員

##### 法人賛助会員

株式会社アクトエンジニアリング  
株式会社浅岡装飾  
株式会社朝日工業社横浜支店  
アサヒビル株式会社  
株式会社アサヒファシリテス  
学校法人岩崎学園  
株式会社ウォートル  
株式会社エス・シー・アライアンス  
株式会社NHKアート  
株式会社オーチャー  
株式会社勝烈庵  
公益財団法人神奈川県結核予防会  
神奈川県信用保証協会  
神奈川県民共済生活協同組合

株式会社神奈川孔文社  
株式会社神奈川保健事業社  
神谷コーポレーション株式会社  
カヤバシステム マシナリー株式会社  
川本工業株式会社  
かをり商事株式会社  
株式会社共栄社  
株式会社キョウエイ装備  
株式会社合同通信  
香山壽夫建築研究所  
コトキシーティング株式会社  
株式会社さが美  
株式会社ジェイエムアンドカンパニー  
株式会社ジェイコムイースト横浜テレビ局  
財団法人シルクセンター国際貿易観光協会  
鈴廣かまぼこ株式会社

生活協同組合コープかながわ  
生活協同組合バルシステム神奈川ゆめコープ  
生活クラブ生活協同組合  
株式会社清光社  
株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ  
月島機械株式会社  
株式会社テレビ神奈川  
株式会社東急エージェンシー  
東工株式会社  
奈良建設株式会社  
株式会社日建設計  
日産自動車株式会社  
日生商工株式会社  
株式会社野毛印刷社

パナソニック ESエンジニアリング株式会社  
パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社  
株式会社日立システムズ  
平安堂薬局  
株式会社ホテル、ニューグランド  
丸茂電機株式会社  
三沢電機株式会社  
森平舞台機構株式会社  
ヤマハサウンドシステム株式会社  
株式会社有隣堂  
株式会社豊商會  
株式会社ユニコーン  
株式会社横浜アーチスト  
横浜エレベーター株式会社  
横浜新都心センター株式会社  
横浜信用金庫

株式会社横浜ステーションビル  
協力  
神奈川総合設備株式会社  
神奈川トヨタ自動車株式会社  
崎陽軒  
コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社  
鈴廣かまぼこ株式会社  
株式会社東芝 首都圏南支社  
株式会社野毛印刷社  
野村證券株式会社横浜支店  
株式会社ポートサービス  
三菱地所株式会社  
(匿名:1社、2名)  
能舞台協賛  
ナイス株式会社  
音楽堂施設協賛  
コトキシーティング株式会社

(2013年2月7日現在)

賛助会員募集のご案内 公益財団法人神奈川芸術文化財団では、賛助会員の制度を設立し、広くみなさまのお力添えをいただいております。お問合せ:公益財団法人神奈川芸術文化財団 広報営業課 ☎045-633-6520

## すべての子どもたち、大人たちに贈る 素敵な音楽と舞台に出会い、劇場を体験する1日 神奈川県民ホール オープンシアター2013

《芸術に触れ、劇場に親しむ》をコンセプトに、「目」にも「耳」にも楽しい、様々なイベントを開催する県民ホールのオープンシアター。

大ホールでは、長年旭山動物園の飼育係を勤め、現在は絵本作家として活躍中のあべ弘士さんによって描かれたたくさんの動物たちが登場。今回上演のサン＝サーンス「動物の謝肉祭」のために書き下ろされたオリジナルのストーリーと音楽との組み合わせで、素敵な舞台が広がります。後半は、昨年に引き続き「生演奏で聴いてみたい、あの曲!! Part2」。皆さんの拍手の大きさを演奏曲目が決定します。「聴きたい!」と思う曲では力いっぱい拍手をして、プログラムを作ってみましょう。小ホールでは、オルガンコンサートとお話しを聴いた後、ステージに上がってパイプオルガン見学ができます。

夕方からは、大ホールのバックステージなど、普段は入れないところを見学できるツアーを開催。一日中、県民ホールを楽しめる、年に一度のチャンスをお見逃しなく!



速報



### KAATオープンシアター2013

県民ホールと同日、KAAT神奈川芸術劇場でもバックステージツアーや素敵なパフォーマンス?!を開催(予定)。最新の舞台機構を誇るKAAT。迫力の舞台裏を見学いただけます。詳細は劇場ホームページにて順次お知らせします。  
<http://www.kaat.jp/>



撮影:ヒダキトモ



撮影:ヒダキトモ

## 神奈川県民ホール オープンシアター2013 ※各公演の詳細はホームページにて順次お知らせします。 <http://www.kanagawa-kenminhall.com/>

### <大ホール>

### 音楽物語 サン＝サーンス「動物の謝肉祭」& 生演奏で聴いてみたい、あの曲!! Part2

6月2日(日) 11:00開演 / 14:00開演(開場は開演の60分前 / 上演時間は約70分)

指揮:藤岡幸夫 管弦楽:神奈川フィルハーモニー管弦楽団

台本・演出・構成:田尾下哲 美術:あべ弘士

ダンス:今津雅晴、森実友紀

全席指定 一般(高校生以上)1,500円 子ども(4歳~中学生)800円

親子(一般1枚+子ども1枚)2,000円

★ステージ・オーケストラ見学

大ホール開場中に、ステージおよびオーケストラピットの見学ができます。

★バックステージツアー

14:00の回終演後、バックステージツアーを開催します(定員60名)。



藤岡幸夫



©Megu

田尾下哲

©平岩亨

### オープンシアター・特別ワークショップ キリンをつくろう!

5月11日(土) 14:00~16:00

会場:神奈川県民ホール・6階会議室

講師:あべ弘士(絵本作家)

### <小ホール>

### パイプオルガン・プロムナード コンサート Vol.326

6月2日(日) 11:00開演 / 14:00開演

(開場は開演の30分前 / 公演時間30分+オルガン見学約30分)

オルガン・お話:柳澤文子

入場無料・全席自由

★終演後にステージ上でパイプ  
 オルガン見学ができます。



撮影:ヒダキトモ

### <ギャラリー>

### 作家とつくるワークショップ

講師:青田真也(美術作家)

対象:小学生



青田真也作品

チケットの  
 お求めは

インターネットチケット予約(24時間受付)  
<http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/>

チケットかながわ 045-662-8866(電話10:00~18:00)  
 (県民ホール窓口10:00~18:00 / 芸術劇場窓口10:00~18:00 / 音楽堂窓口13:00~17:00月休)

# WHAT'S ON? 18

## 横浜・山下町周辺のアート、コンサート、イベント情報ピックアップ

### ① 横浜開港資料館



横浜アマチュア・アスレチック・アソシエーションの陸上競技会 The Japan Punch. 1875年5月号/横浜開港資料館所蔵

#### 企画展「スポーツがやってきた! ~近代横浜スポーツ史~」

開催中~4月21日(日)

開港後、横浜に住み始めた外国人たちは、母国で行われていた様々なスポーツを楽しみ余暇を過ごした。この企画展では、横浜から日本中に広まった近代スポーツの伝来と普及の歴史を振り返る。

開館時間:9:30~17:30(入館は16:30まで)

休館:月曜日(祝日の場合は翌日)、資料整理日

入館料 一般200円、小中学生100円

※次回企画展は「上海と横浜(仮題)」4月24日(水)~7月7日(日)予定

お問合せ:☎045-201-2100

### ② 象の鼻テラス



PHOTO:427FOTO

開港150周年の2009年にオープンしたアートスペースを兼ねたレストハウス。常設アートワークやアーティストカフェに加えて、「ポート・ジャーニー・プロジェクト」「スローレーベル」「聞き耳ワールド お散歩型音声ガイド」など、ユニークな試みが注目を集めている。現在「SLOW LABEL THE FACTORY 2『急募!スローファブリック工場の職人』」展を開催中(~3月31日(日)まで)。今後のイベント情報は、順次ホームページで発表。

お問合せ:☎045-661-0602 <http://www.zounohana.com/>

### ③ KAAT神奈川芸術劇場



市村正親

大竹しのぶ

#### ブロードウェイミュージカル『スイーニー・トッド』

5月5日(日・祝)・6日(月・振休)KAAT神奈川芸術劇場(ホール)

市村正親&大竹しのぶ&宮本亜門の史上最強のトライアングルが

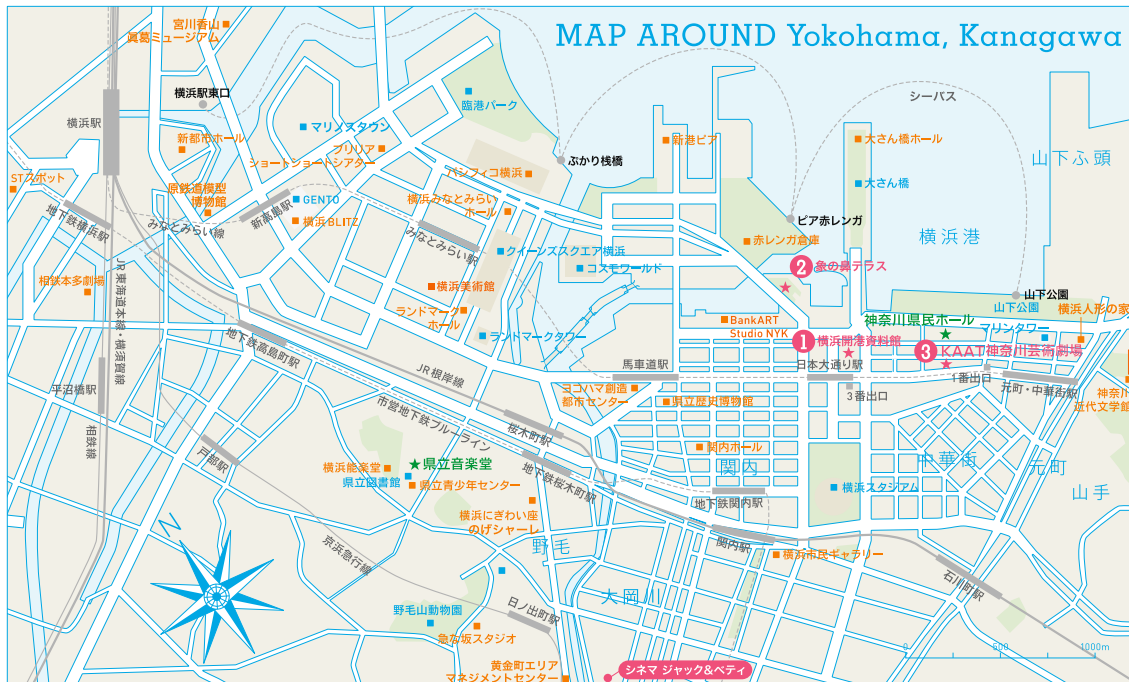
奏でる至極のミュージカル、最終章!

作詞・作曲:スティーヴン・ソンドハイム 脚本:ヒュー・ホーラー 演出・振付:宮本亜門

出演:市村正親、大竹しのぶ、芳本美代子、柿澤勇人、高畑充希、安崎求、斉藤暁、武田真治 他

料金:全席指定 S10,000円 A7,000円 B(イス付立見席)5,000円 他

チケット:☎045-662-8866(チケットかながわ)



## 新・森さんぽ6

森日出夫さん撮影の写真でめぐる横浜歴史散策

### 劇場街・シネマシティ横浜

明治時代、伊勢佐木町通りとその周辺は、芝居小屋や寄席のほか、食べ物屋や商店が軒をつらね、横浜庶民の楽しみを集めていました。歌舞伎興行も盛んでしたが、新しいもの好きとみたのか、川上音二郎は劇場の「蔦座」に乗り込んで「オッペケペー節」を高らかにうたい、関東における新演劇ののろしをあげました。のちには「喜楽座」を改良演劇の拠点としています。

映画の「封切り」という言葉も横浜・伊勢佐木から生まれました。明治44(1911)年、貿易商が映画館「オデオン座」を開業。欧米から直接輸入したフィルム缶の「封を切る」ことが語源とされ、東京の客も引き寄せました。その後、他社のフィルム輸入がすみ、オデオン座の独占的な「封切り」は名実ともに失われますが、国内での映画製作が勃興して、庶民娯楽の中心は映画に移っていきました。

伊勢佐木の歴史は、人々で賑わい、心ときめく盛り場としての歩みでした。そして「賑わい」、「ときめき」を演出する劇場街の誇りは、今日も受け継がれています。

監修:平野正裕(横浜開港資料館)



2005年閉館まで洋画専門館として人気を博した「横浜日劇」



シネマシティの伝統を受け継ぐ、若葉町の名画座「シネマ ジャック&ベティ」

県内のアート情報はここで探そう!

<http://www.kanagawa-at.info/>  
「かな@」で県内のアート情報を検索できます。



かながわメンバーズ  
**Kame**  
KANAGAWA members

登録無料!メルマガ定期配信

**TOSHIBA**  
Leading Innovation >>>

見るものすべて面白い毎日が始まる。  
クラウド対応型タイムシフトマシンレグザ。

**Z7 SERIES**



※クラウドのご利用には、インターネットへの接続環境が必要です。  
※タイムシフトマシン機能のご利用には別売のタイムシフトマシン対応USBハードディスクが必要です。

<http://www.toshiba.co.jp/regza>

クラウドがもたらす、  
次世代のインテリジェンス高画質レグザ。

**J7 SERIES**



※クラウドのご利用には、インターネットへの接続環境が必要です。

**REGZA**

東芝グループは、持続可能な地球の未来に貢献します。 **eco** スタイル